

施策 1 2 3 ころと身体 の健康対策の推進

基本事業 1 2 3 0 1 健康づくり活動の推進 (主担当 健康増進課)

県民の死因の6割を占める生活習慣病を減少させるため、予防施策の指標として策定した「三重県健康づくり基本計画」の推進により、県民一人ひとりが健康づくりに取り組めるような社会環境の整備を行います。

1 健康づくりの推進

平成25年度から34年度までの10年間を計画期間とした「三重県健康づくり基本計画第二次計画」の基本的方針である、地域住民の「健康寿命の延伸」と「幸福感を高める心身の健康感の向上」をめざし、伊勢志摩地域においても地域の健康課題の解決にむけ、市町保健行政や職域保健など関係各分野と情報共有及び情報交換の場を設けるとともに健康づくりの主要要素である栄養・運動・休養の啓発を主軸に社会資源の活用も図りながら、生活習慣病予防及び重症化予防を推進しています。

(1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

地域と職域が連携し、生涯を通じた継続的な保健サービスの体制を整備し、効果的な協働による健康づくり事業(メンタルヘルス・自殺対策を含む)を推進することを目的として、各分野代表からなる当懇話会を開催しました。

開催日	内 容	出席者
平成27年 2月12日(木)	① 伊勢志摩における職域のメンタルヘルスに関する現状と課題を共有 ② 伊勢保健所のメンタルヘルス対策 ③ 自殺予防講演会の共催計画 ④ 意見交換	委員 15人

(2) 市町訪問の実施

保健師の活動体制等に関する状況調査、在宅医療・介護の連携にかかる事業の現状について、各市町を訪問し情報共有および意見交換を実施しました。

訪問日	市 町		伊勢保健所
平成26年 9月18日(木)	伊勢市	健康課 5名 介護保険課 1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師
平成26年 9月19日(金)	大紀町	健康福祉課 5名 地域包括支援センター1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師

訪問日	市 町	伊勢保健所	
平成26年 9月24日(水)	度会町	福祉保健課 1名 地域包括支援センター 1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師
平成26年 9月24日(水)	玉城町	生活福祉課 1名 地域包括支援室 1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師
平成26年 9月25日(木)	南伊勢町	福祉課健康増進係 3名 地域包括ケア推進係 1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師
平成26年 9月26日(金)	鳥羽市	健康福祉課 1名 地域包括支援センター 1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師
平成26年 9月30日(火)	志摩市	健康推進課 3名 大王町保健センター1名	地域保健課長(保健師) 総務企画課保健師

【テーマごとの推進】

1 身体活動・運動

江戸時代に伊勢詣の道中ガイドや宿泊・観光案内をした方達の呼称である御師(おんし)にちなんで、地域住民の健康づくりの案内を担う運動アドバイザー(ガイド・案内役)を「健康御師」として育成してきましたが、現在では自主的又は市町とともに地域で活動しています。

2 たばこ対策

喫煙対策は、防煙・分煙・禁煙支援の3本柱で展開し、公共の場における分煙化の推進や禁煙の啓発、防煙のための情報提供を実施しました。

- ・ 展示による啓発：世界禁煙デー・禁煙週間に伊勢庁舎ロビーにおいて受動喫煙や禁煙支援等について情報提供しました。
- ・ 伊勢保健所ホームページに、たばこに関する情報を掲載しています。

3 歯と口の健康づくりの支援

歯科口腔保健の推進に関する法律や条例が施行され法整備が進むなか、窓口へ啓発用ポスター・冊子等を設置することにより、8020運動の啓発を行いました。

4 食環境の整備

(1) 健康食育推進事業

幅広い世代を対象とした健康的な食習慣の形成を図るため、食事バランスに対する理解と「食事バランスガイド」の活用に向けた普及啓発を行うとともに、多様な主体と協働し、食育活動や県民のライフステージに応じた食環境づくりを推進しました。

ア 野菜フル350推進事業

食生活の現状をみると、全ての年代で野菜の摂取が不足しており、生活習慣病予防の視点などから課題となっています。健康的な食生活が実践できるよう、1日の野菜摂取の目標量を350gとし、野菜摂取の増加（食事バランスガイドで副菜1つの増加）に焦点をあてた事業を推進しました。また、健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るために、朝食における野菜摂取を推進しました。

○野菜フル350セミナーの開催

日 時	内 容
平成 26 年 11 月 12 日（水）	野菜本来の味を活かしたマクロビオティック（野菜・穀物を中心とした自然食）の調理方法等を実習及び講義から学び、新たな野菜の魅力やおいしさについて知る機会とした。 場所：伊勢保健所 栄養指導室 対象：いせしま健康もてなしの店関係者、市町行担担当者、食育関係者等 27人

○普及啓発等

日 時	内 容
① 平成 26 年 6 月	食育月間（6月）及び食育の日（19日）の啓発 場所：伊勢庁舎玄関ホール 対象：来庁者、職員 約 100 人 内容：野菜フル 350 推進に関する掲示及び啓発物を配布した。また、食育の日は、庁内アナウンスを実施した。
② 平成 26 年 10 月 2 日（木）	コープみえ 暮らしの活動交流展での啓発 場所：県営サンアリーナ 対象：コープみえ会員（一般）約 140 人 内容：「食塩エコ（減塩・節塩）」をテーマに、クイズや体験型の展示、アンケート等を実施した。
③ 平成 26 年 10 月 16 日（木） ～21 日（火）	管理栄養士臨地実習生による健康づくりに関する啓発 場所：伊勢庁舎玄関ホール 対象：来庁者、職員 約 50 人 内容：野菜フル 350 に関する掲示及びアンケートを実施した。（福祉フェスティバル（10月13日開催）が台風により開催中止となったため、場所を変え実施した。）
④ 年間	給食施設に対し、巡回指導時を活用して啓発物を配布、野菜フル 350 推進事業の認知を高めた。 対象：35 施設

イ「健康づくり応援の店」協働事業

○「いせしま健康もてなしの店」を通じた健康づくりの推進

伊勢志摩地域では、健康的な食環境の整備を図るため、平成13年度から、ヘルシーメニューの提供や栄養成分表示、健康情報発信等を通じて、健康を視点としたおもてなしを行う飲食店が「いせしま健康もてなしの店」として登録されています。(平成26年度末の登録店舗数 61店舗)。

この「いせしま健康もてなしの店」登録店がそれぞれの持つ多彩な特色を活かし、情報を共有し、連携を進めることにより誰もが楽しく食事ができる店づくりを支援するとともに、健康情報を発信し、健康的な食環境整備を図りました。

○「いせしま健康もてなしの店」推進委員会運営等への支援

開催日	内容
平成26年 10月7日(火)	① 26年度事業計画について ・ 研修会について ・ 役割分担などの調整 ② 健康づくり応援の店及びいせしま健康もてなしの店新規登録申込について 等

○資質向上のための支援

開催日	内容	参加者
平成26年 11月12日(水)	研修 テーマ: 消費者のヘルシー志向への対応と自身の健康管理のための健康づくり (午前)マクロビオティック料理講習会 (午後)ウォーキング講習会 場所: (午前)伊勢保健所栄養指導室 (午後)伊勢庁舎 401 会議室 ※ 三重県調理師会伊勢支部との共催	いせしま健康もてなしの店関係者 (午前)16人 (午後)10人 ※うち登録店7店舗

○健康づくり応援の店の新規登録手続き及び随時訪問

登録店舗数 61店舗 (平成26年度末)
内、新規登録店舗数 3店舗

○その他支援

ホームページへの掲載と随時更新

<http://www.pref.mie.lg.jp/NHOKEN/HP/kenkou/motenasii/Index.htm>

(2) 栄養施行事務事業

ア 給食施設等指導

健康増進法、健康増進法施行細則に基づき、給食施設の栄養管理に関する指導支援を実施するとともに、非常時の食料備蓄や対応マニュアルの整備状況の把握を重点的に行いました。

また、給食関係者の資質向上を目指した研修会を開催しました。

○給食施設巡回指導

区 分	管理栄養士配置 の知事指定施設	特定給食施設施設 (知事指定を除く)	一般給食施設	合 計
指導実施施設数	4	11	20	35

○給食施設個別相談・指導

相談・指導件数 6 件

○給食施設従事者研修会

開 催 日	内 容	参 加 者
平成 27 年 1 月 29 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> ・事例発表 テーマ：多職種連携による安全で効果的な給食の提供を目指して 座長：伊勢保健所長 鈴木 まき 発表①「『保育所給食における食物アレルギー対応の手引き』の策定経緯と活用について」 発表②「多職種連携による栄養管理について～ソフト食導入を中心に～」 ・行政報告 「災害時における栄養・食生活支援活動の効果的な展開に向けて～ベンチマーキングの報告から～」 場所：伊勢庁舎 401 会議室 	95 人

イ 栄養表示等の指導支援

健康増進法に基づき虚偽誇大広告の禁止、栄養表示基準にかかる相談・指導を行いました。

・ 特別用途食品・栄養表示等の相談・指導

相談・指導件数 13 件

ウ 調査事業

○平成 26 年国民健康・栄養調査 該当地区なし

エ 栄養相談指導事業

栄養相談のニーズに応じて個別の栄養指導を行いました。

対 象	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上	合 計
件 数	0	0	0	1	1

オ 人材育成・支援

○市町栄養士支援

- ・ 市町保健・福祉行政栄養士連絡調整会議の開催 年間3回
主な取組：『災害時避難所炊き出し献立集』の作成、地域の栄養・食生活課題把握に関する調査、情報交換等
- ・ 市町保健・福祉行政栄養士研修会の開催 1回
内容：「食物アレルギー対応の最近の状況について」

○地域活動栄養士活動支援

- ・ 情報提供・情報交換会等 年間12回

○食生活改善地区組織活動支援

- ・ 組織運営及び活動支援等 11回

※「こころの健康づくり」については本節基本事業12302に、人材育成としての管理栄養士学生臨地実習は本節基本事業12101に掲載していません。

基本事業 12302 心の健康づくりの推進（主担当 健康増進課）

社会環境の複雑化に伴い、地域ではさまざまな心の健康問題が起こっています。心の交流を豊かにすることで住民が地域で孤立せず、誰もが住み良い地域づくりをめざして各事業を実施しています。

主な取組内容

1 対面相談支援事業

（1）精神科医師による心の健康相談

- ① 回数：月 1 回
- ② 開催場所：伊勢庁舎（内 2 回は志摩庁舎）
- ③ 利用件数：18 件

2 人材育成事業

（1）メンタルパートナー養成事業

① 保健所実施分

対 象	回 数	人 数
一般住民	2	42
看護学生等	4	25
その他団体（通所介護事業者職員）	9	471
合 計	15	538

（2）メンタルパートナーステップアップ研修

対 象	回 数	人 数
一般住民（傾聴ボランティア）	2	16（延32）

3 普及啓発事業

（1）自殺予防講演会

* 3月からの自殺対策強化月間に合わせ、伊勢市との共催にて実施

開 催 日	内 容 及 び 対 象	人数
平成 27 年 3 月 27 日	講演「予防できるうつ病」 講師：国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神保健計画研究部 システム開発研究室長 西 大輔 氏	126

（2）自殺予防週間啓発

開 催 日	内 容
平成 26 年 9 月 10 日 ～ 9 月 13 日	① 近鉄宇治山田駅にて街頭啓発 のぼり旗を立て、啓発物品の配布と「自殺予防週間の呼びかけ」 ② 庁舎内に啓発コーナーを設置 のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布

(3) 自殺対策強化月間啓発

実施期間	内容
平成27年3月2日 ～3月31日	① イオンララパーク店において街頭啓発 啓発物品の配布と「自殺対策強化月間の呼びかけ」 ② 庁舎内に啓発コーナーを設置 のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布

(4) ホームページによる自殺予防啓発

自殺予防講演会、自殺予防週間、自殺対策強化月間についてホームページに掲載し、広く住民への情報提供を行った。

(5) 酒害健康教育（アルコールパッチテスト）

メンタルパートナー養成研修等の場を利用して、自殺との関連が深い酒害について、参加者のアルコールに対する体質等の理解を深めるために、アルコールパッチテストを利用し、酒害に関する健康教育を行った。

対象	回数	人数
一般住民、施設職員、看護学生等	4	168

4 関係機関との連携等

(1) 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

- ① 日時：平成27年2月12日（木）午後2時から午後3時30分
- ② 内容：「職域のメンタルヘルス」に関する講演会及び情報交換

(2) その他

自殺予防講演会、及び自殺対策強化月間の街頭啓発において、伊勢市の協力を得ながら実施した。

基本事業 1 2 3 0 3 生活習慣病・難病対策の推進

(主担当 地域保健課・衛生指導課)

難病患者の病気や日常生活に対する不安の軽減を図るため、保健所において特定疾患医療受給申請時に面接を行い状況を把握します。

また、保健師などによる家庭訪問を実施し、患者の病状変化に応じた援助を行い、地域における支援体制の充実を図ります。

1 難病対策の状況

原因不明あるいは治療困難で長期の療養を必要とする「難病の患者に対する医療等に関する法律」に基づき指定された110疾患について患者の医療費の負担軽減を図るとともに、難病患者等への療養支援や生活支援を行い精神的・身体的不安の軽減を図りました。

また、先天性血液凝固因子障害の患者に対し、医療費の公費負担を行い精神的・身体的不安の解消を図りました。

(1) 特定医療受給者の状況

治療が極めて困難であり、長期の療養を要し、その治療費も高額なため、指定された110疾患の患者の自己負担を軽減し治療の促進を図りました。

平成27年3月31日現在

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
1	球脊髄性筋萎縮症	1(1)	2	1					4(1)
2	筋萎縮性側索硬化症	8	2	8		(1)		2	20(1)
4	原発性側索硬化症			1					1
5	進行性核上性麻痺	6	2	1	1		1	3	14
6	パーキンソン病	106	26	55	13	5	16	26	247
7	大脳皮質基底核変性症	4	1	1					6
8	ハンチントン病	3							3
11	重症筋無力症	19	5	14	2		3	2	45
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	29		4	3	2		2	40
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	2	2	5	2		1	3	15
17	多系統萎縮症	10	1	6				1	18
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く)	25	10	18(2)	3	3	2	6	67(2)
19	ライソゾーム病	2	1						3
21	ミトコンドリア病							1	1
22	もやもや病	11	3	8	1	1		2	26

番号	疾病名	市町名							合計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
23	プリオン病	1							1
24	亜急性硬化性全脳炎	1							1
28	全身性アミロイドーシス	2		2			1		5
34	神経線維腫症	2	2	2					6
35	天疱瘡	6		2		1	2		11
36	表皮水疱症			1					1
37	膿疱性乾癬	1	1	3	2				7
40	高安動脈炎	4		3(1)				1	8(1)
42	結節性多発動脈炎	8		2				1	11
43	顕微鏡的多発血管炎	6		7		1		2	16
44	多発血管炎性肉芽腫症	1	1	1			1	1	5
46	悪性関節リウマチ	13(1)	1	5			2	3	24(1)
47	バージャー病	6	3	3	1			2	15
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	1							1
49	全身性エリテマトーデス	50(1)	9	22	8	4	2	7	102(1)
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	24(1)	4	10		1	3	4	46(1)
51	全身性強皮症	41(3)	5	16(1)	3(1)	3	6	7(1)	81(6)
52	混合性結合組織病	8	2	6		1		3	20
56	ベーチェット病	26	7	9	2	4			48
57	特発性拡張型心筋症	67	10	30	5	6	5	15	138
58	肥大型心筋症	7		3	1			1	12
60	再生不良性貧血	9	2	6		1		1	19
63	特発性血小板減少性紫斑病	32(1)	4(1)	16	3			5	60(2)
65	原発性免疫不全症候群	2							2
66	IgA 腎症	1		1	1		1		4
67	多発性嚢胞腎			1					1
68	黄色靭帯骨化症	2(1)		(1)		2		1	5(2)
69	後縦靭帯骨化症	52(2)	6	20	6	5	5	9	103(2)
70	広範脊柱管狭窄症	1(1)		1			2	2	6(1)
71	特発性大腿骨頭壊死症	5	1	1			2	1	10
72	下垂体性ADH分泌異常症	3	1	(1)			1		5(1)
74	下垂体性PRL分泌亢進症	2		1					3
75	下垂体性ACTH分泌亢進症	1				1			2
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	1							1

番号	市町名 疾病名	伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	合計
78	下垂体前葉機能低下症	17	2	5		3			27
84	サルコイドーシス	32	6	19	3	3	3	3	69
85	特発性間質性肺炎	12	4	7	4	2	1	4	34
86	肺動脈性肺高血圧症	3					1	1	5
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1	1						2
90	網膜色素変性症	28(1)	5	22	11	5	3	8	82(1)
91	バッド・キアリ症候群						1		1
93	原発性胆汁性肝硬変	60(2)	8	20(3)	4(1)	7	4	5	108(6)
95	自己免疫性肝炎	2							2
96	クローン病	34	5	8	5	2	5	1	60
97	潰瘍性大腸炎	158	21	66	21	7	8	11	292
合 計		959 (15)	166 (1)	443 (9)	105 (2)	70 (1)	82	147 (2)	1972 (30)

* () は重複疾患

(2) 特定疾患治療研究事業

平成26年4月1日～平成27年3月31日

① スモン治療受給者状況 4件

② 先天性血液凝固因子障害治療受給者状況

番号	病 名	件 数
1	第Ⅰ因子(フィブリノゲン)欠乏症	—
2	第Ⅱ因子(プロトロピン)欠乏症	—
3	第Ⅴ因子(不安定因子)欠乏症	—
4	第Ⅶ因子(安定因子)欠乏症	—
5	第Ⅷ因子欠乏症(血友病A)	7
6	第Ⅸ因子欠乏症(血友病B)	—
7	第Ⅹ因子(スチュアートブラウア因子)欠乏症	—
8	第ⅩⅢ因子(フィブリン安定化因子)欠乏症	—
9	Von Willebrand(フォン・ヴィルブラント)病	5
合 計		12

2 難病在宅ケア事業

- ・ 難病患者の療養生活を支援し、QOLの向上を目指します。
- ・ 在宅患者及び家族の在宅ケアの充実を図ります。
- ・ 各関係機関との連携を強化していくことにより、地域支援体制の基盤を作ります。

(1) 特定疾患医療申請時面接の実施

患者個々の状況や療養上の困りごと及び問題点を明確にし、必要なケアを行うため、申請手続に来所した患者・家族に対し面接及び電話による相談支援を行いました。

個別面接 : 57人

電話相談 : 509人

(2) 訪問相談等の実施

訪問対象者は筋萎縮性側索硬化症等の神経筋疾患が大半を占めています。

訪問人数 : 延べ57人 (実人員 22人)

(3) ケース検討会の実施

実施回数 : 3回 (実人員 3人)

(4) 医療相談事業

日時：平成27年2月24日(火) 10:00～12:00

場所：三重県伊勢庁舎 4階401会議室

対象：神経難病患者、家族

(多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性、パーキンソン病、多系統萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎)

参加人数：患者家族 35名 関係者 2名

内容：(1) 講演「神経難病治療最新情報について」

講師 伊勢赤十字病院 神経内科部長 内藤 寛 医師

(2) 実技「在宅でできる飲み込みの訓練について」

講師 伊勢慶友病院 言語聴覚士 松山 裕彦 氏

(3) 医療相談 (質問コーナー)

伊勢赤十字病院 神経内科部長 内藤 寛 医師

伊勢慶友病院 言語聴覚士 松山 裕彦 氏

(4) NPO法人 CTF松阪による意思伝達装置の展示、デモンストラクション

(5) 展示コーナー

患者会情報、トロミ剤のパンフレット・試供品の展示

3 肝炎治療特別促進事業（B型、C型ウイルス性肝炎インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療医療費助成制度）

B型、C型肝炎のウイルス除去を目的に、インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成します。

（平成20年4月1日から事業開始）

（1）公費負担医療状況 平成26年4月1日～平成27年3月31日

区 分	件 数
申 請	246
承 認	246

4 原子爆弾被爆者対策

原子爆弾に被爆し、今なお特別な状況にある者に対して、医療特別手当の支給等の措置を講じ、その福祉の向上を図るとともに、健康診断及び医療費助成を行い、健康の保持を図りました。

（1）健康手帳交付、手当受給状況 平成27年3月31日（単位：人）

区 分		市町名							合 計
		伊勢市	鳥羽市	志摩市	玉城町	度会町	大紀町	南伊勢町	
健康手帳 交付状況	男	17	3	14	1	0	0	6	41
	女	12	4	6	1	0	0	0	23
	計	29	7	20	2	0	0	7	64
各 種 手 当	医療特別手当	0	0	2	0	0	0	0	2
	保健手当	3	1	0	0	0	0	0	4
	健康管理手当	26	6	18	2	0	0	6	58
	介護手当	0	0	0	0	0	0	0	0
	家族介護手当	1	0	0	0	0	0	0	1
	葬祭料	1	0	0	0	0	0	1	2
	計	31	7	20	2	0	0	7	67

(2) 健康診断受診者状況

平成 27 年 3 月 31 日 (単位: 人)

定期健康診断	検査項目	一般検査	肝機能検査	ヘモグロビン A1c
	第 1 回春	23	23	23
	第 2 回秋	29	28	15

がん検診 (希望による)	胃がん	肺がん	乳がん	子宮 がん	大腸 がん	多発性 骨髄腫
	2	4	2	0	4	3

5 骨髄バンク事業

骨髄移植とは、白血病や再生不良性貧血などの血液難病におかされた患者さんの骨髄幹細胞を骨髄提供者（ドナー）の方の健康な骨髄幹細胞に入れ替える（実際は骨髄液を点滴静注する）治療のことである。しかし、移植のためには、患者さんとドナーのヒト白血球型抗原であるHLA型が一致しなければいけません。一致する確率は兄弟姉妹型で4分の1です。しかし、親子ではまれにしか一致せず、非血縁者間では、数百～数万分の1の確率でしか一致しません。

このため、各種イベント会場等において「勇気の会」伊勢志摩支部（三重県骨髄バンク推進連絡会）の協力を得て骨髄バンク登録の啓発を図るとともに、献血ルーム「ハートワン」と臨時登録会で骨髄提供希望者の登録受付を行っています。

(1) イベント会場での啓発活動の実施

ア 献血ページェント

平成 26 年 7 月 21 日 (祝月)	イオンタウン伊勢ララパーク
平成 26 年 7 月 29 日 (火)	鳥羽ショッピングプラザハロー
平成 27 年 2 月 6 日 (金)	イオンタウン伊勢ララパーク
平成 27 年 3 月 15 日 (日)	イオン阿児店
平成 27 年 3 月 24 日 (火)	鳥羽ショッピングプラザハロー

イ 学園祭

平成 26 年 11 月 1 日 (土)	皇學館大学 倉陵祭
----------------------	-----------

(2) 骨髄提供者登録受付

ア 臨時登録受付

登録者 26 名

実 施 日	場 所	登録者数
平成 26 年 7 月 21 日 (祝月)	イオンタウン伊勢ララパーク	6
平成 26 年 7 月 29 日 (火)	鳥羽ショッピングプラザハロー	1
平成 26 年 11 月 1 日 (土)	皇學館大学「倉陵祭」	9
平成 27 年 2 月 6 日 (金)	イオンタウン伊勢ララパーク	3
平成 27 年 3 月 15 日 (日)	イオン阿児店	4
平成 27 年 3 月 24 日 (火)	鳥羽ショッピングプラザハロー	3